

一般財団法人国土技術研究センター 第33回 技術研究発表会

2019年7月5日(金) イイノホールにて

第33回 技術研究発表会について

一般財団法人 国土技術研究センターは、国民生活の向上や国土の適正管理及び有効利用の実現を目指して幅広い調査・研究を行うことで、国土交通行政を先導・補完することを目的として、昭和48(1973)年に設立された政策提言集団である。この調査・研究の成果を、広く国民の皆様還元することは一般財団法人の役割として極めて重要であることから、公益事業の一環として、昭和62年から毎年「技術研究発表会」を開催している。

第33回目となる今回は、まず「気候と社会の変化に対応できる治水」と題して、小池俊雄先生(国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター長)に特別講演をいただく。

引き続き、当センター職員が、河川、道路、住宅・都市・地域、

技術・調達の4部門から6つの発表を行う。河川部門では、総合土砂管理計画の策定・推進を支援する「『総合土砂管理計画策定の手引き』の作成」についての研究や、被災メカニズムに着目した重要水防箇所の設定種別及びその指標の検討結果等について報告する「堤防の浸透に係る重要水防箇所の設定」を、また道路部門では、住みやすい都市を形成するための「歩行者・自転車を優先した道路交通の取組みについて」の紹介及び、道の駅の災害時の支援機能に着目した「『道の駅』の多様な機能展開について」を、さらに、住宅・都市・地域部門では、「東京オリパラ競技大会のレガシーを見据えた建築物のバリアフリー化の取組み」を、そして技術・調達部門では、発注者の技術力・マネジメント力の向上策及び補完方策等の方向性を示す「受発注者双方からみた公共事業発注者の技術力確保に関する課題認識について」を発表する。

今後、さらに研究を深化させ、当センターの国土交通行政の先導・補完という役割を着実に果たしていく所存である。

(野田 徹 業務執行理事)

